

令和6年度 生徒による授業評価結果まとめ

授業評価については、今後の授業改善に役立てることを目的に、前期（7月）、後期（1月）に全校生徒を対象にすべての授業に対して評価を実施した。

1 授業評価について

自己評価も含め、以下の3つの質問について5段階で評価

(1) 質問事項

質問1 自分は授業に集中して先生の話聞き、学習に取り組んでいますか？

質問2 授業の進捗や難易度は、自分にとって適切ですか？

質問3 先生は興味・関心を高め、わかりやすい授業をしていますか？

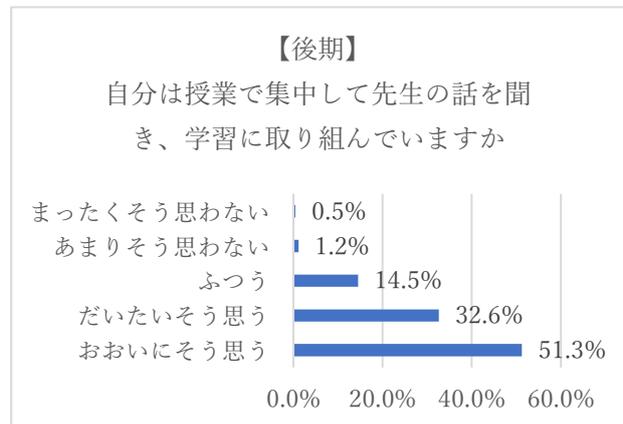
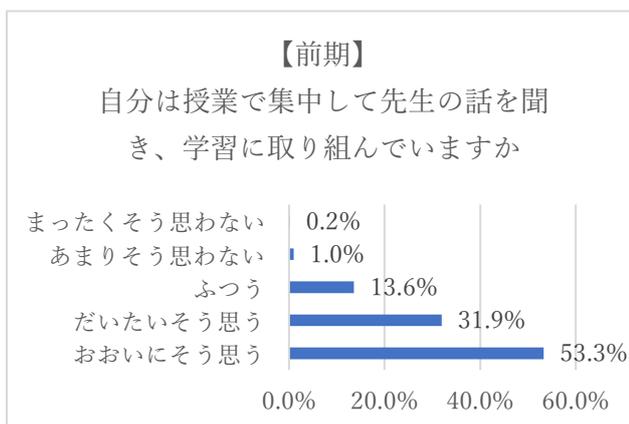
(2) 評価規準

①大いにそう思う ②だいたいそう思う ③ふつう ④あまりそう思わない

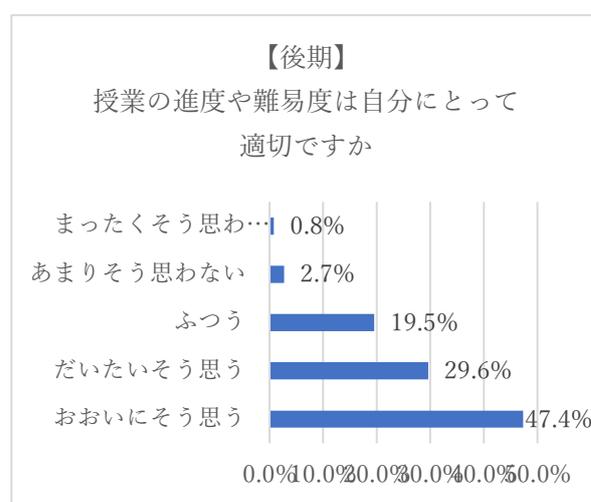
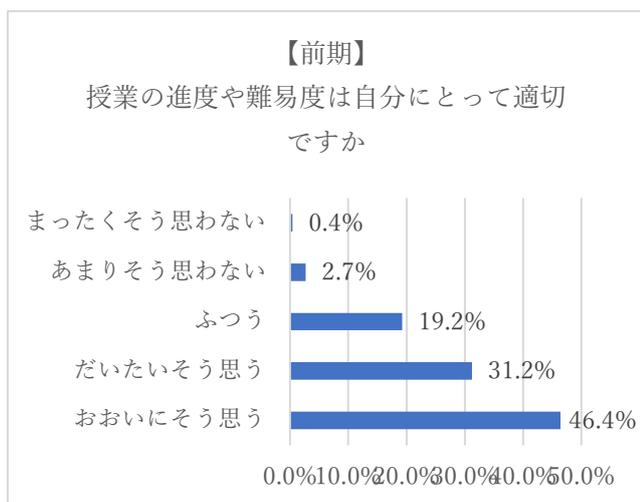
⑤まったくそう思わない

2 評価結果について

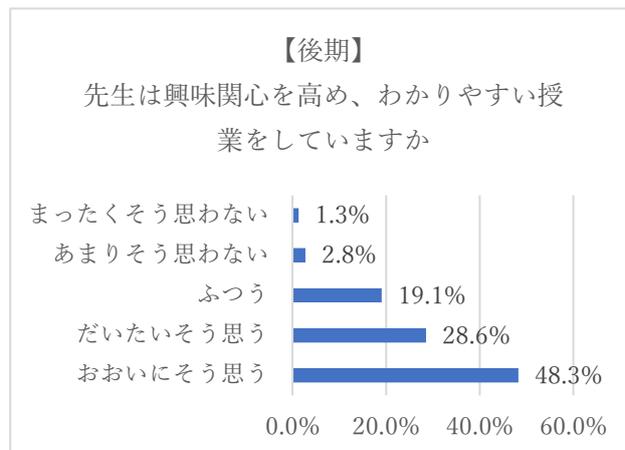
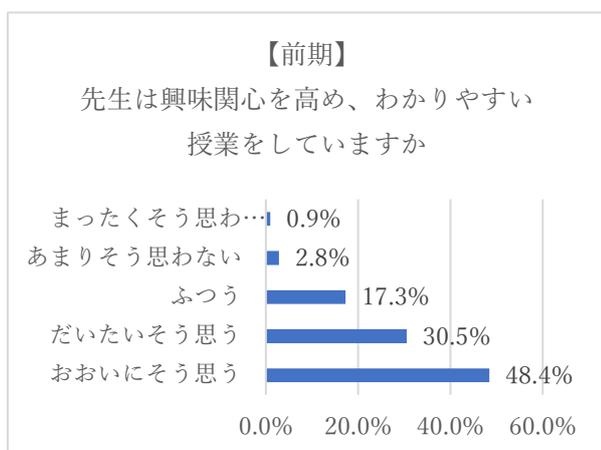
(1) 質問1の「生徒自身の授業態度」については「ふつう」以上と回答したのは前期98.8%、後期98.4%、改善が必要と回答した生徒は前期1.2%、後期1.7%だった。



(2)質問2の「授業の進度や難易度」については、「ふつう」以上と回答したのは前期 96.8% 後期 96.5%、改善が必要と回答した生徒は前期 3.1%、後期 3.5%だった。



(3)質問3の「わかりやすい授業か」については「ふつう」以上と回答したのは前期 96.2% 後期 96.0%、改善が必要と回答した生徒は前期 3.7%、後期 4.1%だった。



3 今後について

昨年度「ふつう」以上とした回答は(1) 前期 95.5%、後期 95% (2) 前期 93% 後期 92.5% (3) 前期 92.6% 後期 92.1%であったので、今年度もほとんど昨年度と変わらない結果となった。

電子黒板を活用した授業やタブレット端末を利用した授業が増えており、「電子黒板を利用した授業はわかりやすい。」「自分で調べることで理解が深まった。」といった有効的に使用している感想が多く見られた。今後、ICT 機器の活用に関して職員のスキルアップのための研修を実施していきたいと考える。しかし、電子黒板だけでなく、黒板を併用しながら、学習するスタイルも必要だといった意見もみられた。生徒の実態に合わせた、タブレットやプリント等の活用を模索し、どのように併用して行くか考えることも重要である。